

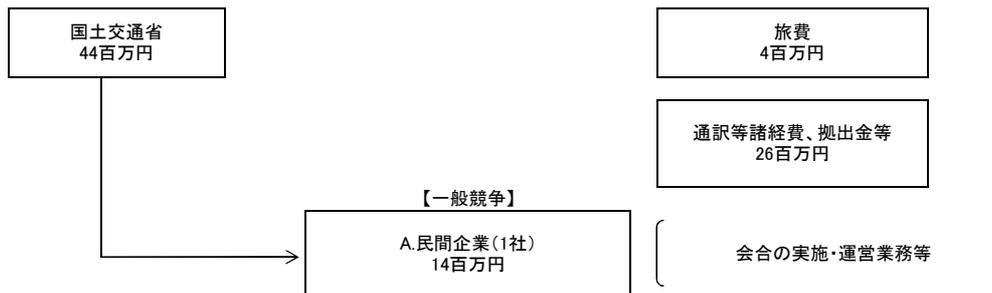
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	交通関係国際会議等に必要な経費		担当部局庁	総合政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	国際政策課		課長 松本 大樹	
会計区分	一般会計		政策・施策名	12 国際協力、連携等の推進 43 国際協力、連携等を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通分野に係る環境問題、セキュリティ問題等、一国のみでは解決が困難な地球規模の課題について、ITF(国際交通フォーラム)やAPEC(アジア太平洋経済協力)等と連携を図りながら、国際的な協調・連携の下で戦略的な取り組みを推進する。また、高齢化による影響や緊迫した財政下における施策の実行等各国が抱える共通の課題等について他国の先進的な取り組みの情報や認識を共有しその解決を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	交通分野全体にわたる国際的な枠組みであるITFやAPECの下に設置された交通大臣会合等の枠組みを積極的に活用し、国際的枠組みの下で課題の解決を図る。また、これらの国際的な枠組みを活用し、世界における我が国の存在感の維持・拡大を図るとともに、我が国の高質な交通インフラの効果的な普及に向けた取り組みを行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	53	51	48	82	92
	執行額	50	41	44	-	-	
	執行率(%)	93.9%	81.0%	92.5%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	国際協力・連携等の推進に寄与したプロジェクトの件数。複数の事業を合わせた指標となっていることから個々の事業における目標値等の設定をしていないため、業績指標単位での数を記載。		成果実績 件数	120	124	126	131 (23年度121件)
			達成度 %	99.2%	102.5%	96.2%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国際的な協調・連携を推進するために行ったAPEC、ITFなどの国際会議等の発注件数		活動実績 (当初見込み) 件数	39	43	44	-
				-	(39)	(43)	(44)
単位当たりコスト	1,123(千円/件)		算出根拠	22年度～24年度の執行額と活動実績件数から算出 134,792千円(執行額)÷120件(件数)			
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.1百万円	0.5百万円	外国出張件数の増			
	職員旅費	4百万円	15百万円				
	委員等旅費	1百万円	1百万円				
	庁費	55百万円	53百万円				
	国際交通フォーラム拠出金	22百万円	22百万円				
	計	82百万円	92百万円				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
必要投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国土交通分野に係わる政府間の協力・連携のための事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争へ移行し、複数応札となって効率性が向上している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	成果実績は前年度を、活動実績は24年度目標値をそれぞれ上回っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業の性質上、諸外国政府関係者との信頼関係構築が重要な要素となることを勘案しつつ、昨年度に引き続き一般競争契約へ移行し、また、経費削減に努めている。 また、会合開催等に携わる請負事業者等との間で頻繁に打ち合わせを行い、進行状況を的確に把握することを通じて、支出先・使途等についても十分把握している。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	昨年度の指摘を踏まえた改善がなされているが、引き続き競争性のある契約方式の活用の徹底、公示期間の延伸等、予算の効率的な使用を更に進めるべき。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	引き続き公示期間の延伸を行うとともに、企画競争から一般競争への移行を進める。					
	備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	42	平成23年	55	平成24年	51

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. (株)イベントアンドコンベンションハウス			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	諸経費、会合開催費、会場借料、旅費等	13			
人件費	直接人件費	1			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱イベントアンドコンベンションハウス	国際シンポジウムの実施・運営業務	14	5	83.77%
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-